

総額 125 億 3,794 万円を投資

平成23年度の予算が、3月17日開催の第2回栗山町議会議定例会で可決されました。町は、この予算に基づき、まちづくりに関するさまざまな施策を展開していきます。

平成23年度の全会計の予算総額は125億3794万円、昨年度と比較し0.9%減、1億1019万円の減となりました。

この内、住民生活とかかわりの深い福祉、教育、産業など幅広い範囲の事業を行う一般会計は、73億700万円で昨年度と比較し5.0%減、3億8700万円の減となりました。

歳入では、町税が長引く景気低迷により落ち込む中、地方交付税の地域活性化に係る増額措置などを見込み、必要となる財源を確保しました。

一方歳出では、本年度からスタートする「第5次総合計画 後期実施計画」で予定している主要事業の予算確保とともに、行財政改革の指針である「がんばる栗山プラン21」に基づいた事業の見直しや経費節減政策評価による事業検証・評価結果の反映など、最小の経費で最大限の効果を上げるための予算編成を行いました。

各会計予算の概要

区分	平成23年度	平成22年度	対前年比(%)
一般会計	73億700万円	76億9,400万円	△5.0
国民健康保険特別会計	18億1,677万円	19億1,841万円	△5.3
老人保健特別会計	—	215万円	皆減
下水道事業特別会計	10億6,628万円	7億7,522万円	37.5
農業集落排水事業特別会計	1億2,362万円	1億2,256万円	0.9
北海道介護福祉学校特別会計	1億3,402万円	1億3,667万円	△1.9
介護保険特別会計	13億542万円	12億7,338万円	2.5
後期高齢者医療特別会計	1億7,033万円	1億6,806万円	1.4
水道事業会計	6億1,450万円	5億5,768万円	10.2
合計	125億3,794万円	126億4,813万円	△0.9

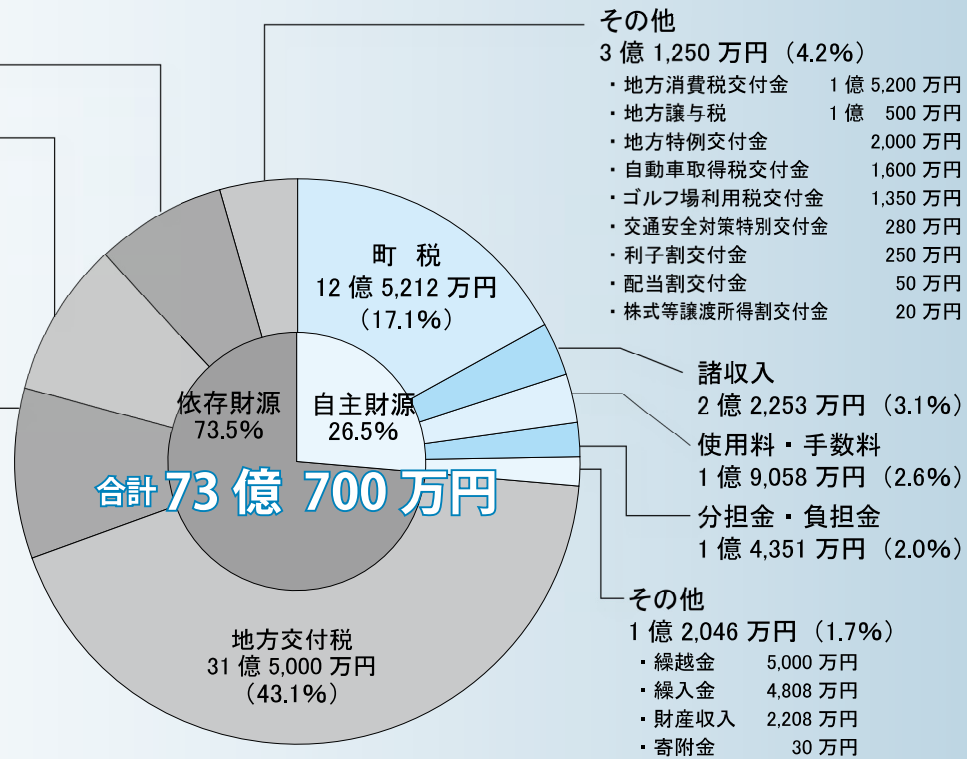
※老人保健特別会計については、後期高齢者医療特別会計の設置（平成20年度）により、精算に係る予算をこれまで計上していましたが、平成22年度をもって廃止しました。

歳入

※（ ）内は構成比

- 道支出金 5億5,332万円 (7.6%)
- 国庫支出金 6億5,758万円 (9.0%)
- 町債 7億440万円 (9.6%)

- 自主財源
町税や町の施設の使用料など町が独自で調達する資金
- 依存財源
地方交付税や国・道支出金など国や道から町に入ってくる資金



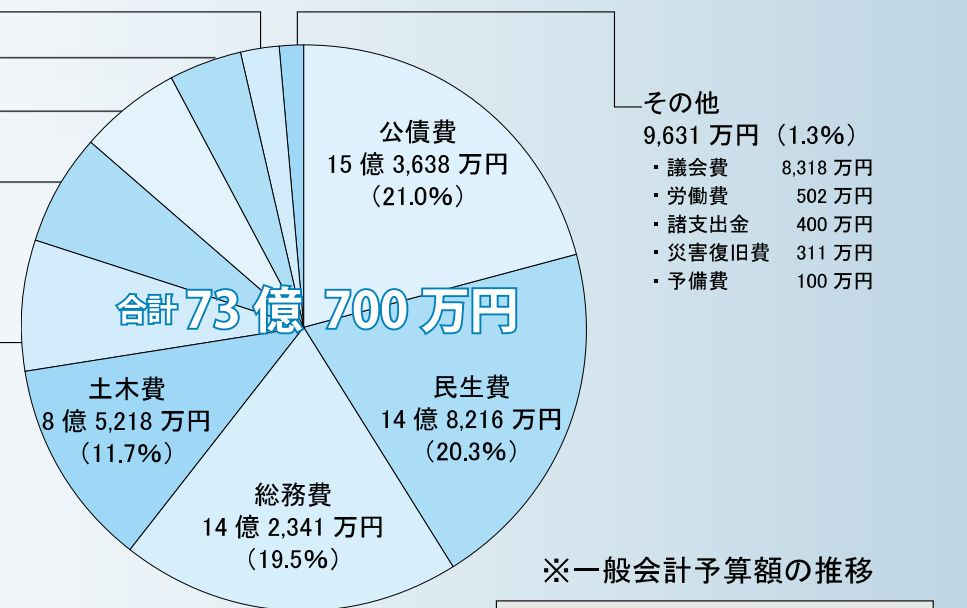
- その他 3億1,250万円 (4.2%)
- ・地方消費税交付金 1億5,200万円
 - ・地方譲与税 1億500万円
 - ・地方特例交付金 2,000万円
 - ・自動車取得税交付金 1,600万円
 - ・ゴルフ場利用税交付金 1,350万円
 - ・交通安全対策特別交付金 280万円
 - ・利子割交付金 250万円
 - ・配当割交付金 50万円
 - ・株式等譲渡所得割交付金 20万円

- その他 1億2,046万円 (1.7%)
- ・繰越金 5,000万円
 - ・繰入金 4,808万円
 - ・財産収入 2,208万円
 - ・寄附金 30万円

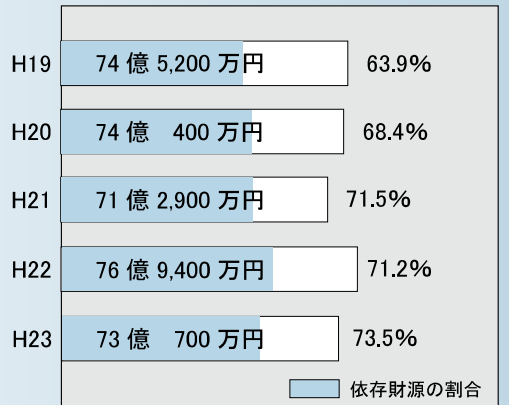
歳出

※（ ）内は構成比

- 商工費 1億7,080万円 (2.3%)
- 消防費 2億9,717万円 (4.1%)
- 衛生費 4億1,900万円 (5.7%)
- 農林水産業費 4億8,413万円 (6.6%)
- 教育費 5億4,546万円 (7.5%)



※一般会計予算額の推移



目的別（予算科目ごと）の歳出内訳は、上記の円グラフのとおりとなっています。町の借金返済に当たる公債費は、返済のピークが過ぎ減少傾向にありますが、なお歳出全体の約2割を占めるなど、依然として厳しい財政状況にあります。

また、経費を性質別で分類した場合は、公債費が21%で最も多く、次いで事業や団体運営に対する補助金などの補助費等、職員給与などの人件費がともに15.7%などとなっています。

今年の主な事業の概要

平成23年度に実施する主な事業は次のとおりです。なお、各事業は第5次総合計画の区分に従って掲載しています。



◆快適でやすらぐふるさとづくり

都市基盤

- 景観条例策定および推進事業……………160万円
町民参加による景観計画及び景観条例の策定
- 湯地地区環境整備事業……………1,554万円
土捨場跡地を植栽・園路整備し地域交流の場に
- 道路整備事業……………9,995万円
湯地継立線改良舗装事業ほか1事業など
- 町営バス事業……………4,869万円
町営バスの運行実証実験を継続実施
- 公営住宅整備事業……………3億8,172万円
松栄団地3棟20戸建替、駐車場整備・集会所新築
- 下水道事業……………2億4,219万円
角田農業集落排水を公共下水道に統合
- 総合行政情報システム更新・戸籍事務の電算化……………8,132万円
システム更新、電算化により質の高い行政サービス提供



◆元気で活力あるふるさとづくり

産 業

- エゾシカ農業被害緊急対策事業……………7,485万円
栗山町鳥獣被害防止対策協議会と連携し対策事業を実施
- 中山間地域等直接支払事業……………1億6,192万円
生産条件不利地の耕作放棄防止など
- 農地・水・環境保全向上対策事業……………2,072万円
農業・農村基盤維持、環境向上対策への支援
- 栗山町農業振興公社事業……………1,000万円
農業振興全般に関する事業運営支援
- 農業基盤整備事業（道営事業）……………4,676万円
杵臼北部地区ほか2地区の農業生産基盤整備など
- 美しい森林づくり基盤整備事業……………313万円
森林造成による地球温暖化防止と環境保全機能向上
- 商店街振興対策事業……………571万円
商業者が主体となって取り組む振興対策を支援
- 企業立地意向調査事業……………938万円
道内企業を対象に進出意向調査を実施しリスト化
- 移住者ネットワークの整備……………343万円
移住・定住のPR活動および受入体制の整備
- 栗の活用プロジェクト……………300万円
町木「栗」を新たな地域ブランドとして推進
- 外国人観光客受入調査・東アジアにおける市場調査事業……………1,128万円
海外観光客受入の基本調査、経済交流のための市場調査

◆安心して暮らせるふるさとづくり

医療・保健・福祉

- 健康相談・健診等事業……………1,924万円
各種予防接種、乳幼児、妊婦健診など
- がん検診事業……………449万円
がん検診および特定健診を総合的に実施
- 特定不妊治療費助成事業……………30万円
高度な不妊治療を受けられる方へ治療費用を助成
- 任意予防接種費助成事業……………561万円
子宮頸がん、小児肺炎球菌などの予防接種費用を全額助成
- 地域医療対策事業……………8,058万円
地域医療体制の構築・連携の促進、病院機能の見直しなど
- 子育て支援事業……………518万円
相談専門職員配置による子ども・子育て心の相談室開設など
- 乳幼児および児童医療費助成……………3,282万円
義務教育終了までの医療費を無料化
- 栗山町高齢者実態調査事業……………869万円
第5次高齢者保健福祉計画など策定のため、実態調査を実施

◆人々が輝くふるさとづくり

教育・文化・スポーツ

- 子ども夢づくり支援事業……………632万円
中学校の机・椅子を更新
- 特別支援教育支援員配置……………1,151万円
児童生徒一人ひとりに応じた指導・支援を実施
- 外国語指導助手配置……………88万円
指導助手2名配置を継続し、小学校の英語活動も充実
- 北海道介護福祉学校運営事業……………1,730万円
質の高い介護福祉士を養成
- 町民の学び支援プロジェクト……………50万円
地域の人材を活かし、多様な学習機会を提供
- 栗山ダムパークゴルフコース拡張事業……………4,948万円
9ホールを増設し計36ホールに拡張

◆みんなが主役のふるさとづくり

町民・地域・行政

- 自治基本条例制定・普及啓発事業……………85万円
「自治基本条例」の制定に向け、町民会議を設置
- 自治区推進モデル事業・自治区交付金……………324万円
地域で設立されたまちづくり組織の活動を支援
- まちづくり100人委員会活動支援……………13万円
委員会活動を支援し、町民の声を政策に反映
- 政策評価事業……………37万円
町民による「外部評価制度」を本格実施

◆人と自然にやさしいふるさとづくり

生活・環境

- ふるさと自然体験教育事業……………81万円
町内児童・生徒を対象に、宿泊を伴う自然体験教育を実施
- 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス拠点活用支援事業……………235万円
施設を拠点とした企画事業の実施、交流人口の拡大など
- 一般廃棄物中間処理（炭化処理）施設運営……………1,926万円
最終処分場延命化のために整備した炭化施設を本格稼働
- 街路灯・防犯灯のLED化の推進……………670万円
街路灯設置の補助率を見直し、LED化を促進
- 墓園管理・造成事業……………1,067万円
墓園111区画を造成



第5次総合計画後期実施計画がスタート

平成23年度より、「第5次総合計画 後期実施計画」がスタートしました。
この後期実施計画は、平成23年度から26年度までにおける、政策の基本目標や実施事業の内容を具体的に整理した、今後4年間のまちづくりの指針となるものです。
計画策定に当たっては、昨年、半年間をかけて、「町民意識・満足度調査」、「各地域・団体のみなさんとの懇談会」、「議会一般会議」など経てまとめ上げられたもので、町民、議会、行政それぞれが、「次代に誇れるふるさと栗山」の実現に向け、目標を共有した結果であります。
計画では、前期実施計画（平成20年度～23年度）からの継続事業に加え、新たに実施する事業が盛り込まれていますが、これらはすべて、町財政計画との整合性が図られています。